

全国イノベーション調査 2022年調査 調査票

- 本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づく一般統計調査です。
○本調査は、全ての企業を調査の対象としており、イノベーションを実現していない企業も対象に含まれます。
○本調査は、統計を作成するために使われるもので、報告者に利害関係を生じるような目的で使用されることはありません。
○調査票における「年」は、「暦年」を意味します。
○調査票は、2022年10月31日（月）までに提出してください。
○調査への回答は、インターネットを通じたオンライン回答システム（https://www.nistep.go.jp/jnis2022）からの入力か、本調査票への記入及び返送により行ってください。

本調査への回答に関するご担当者について記入してください。
調査結果や調査に関連する情報の送付、ご回答の内容に関して問い合わせをする場合がございます。

法人番号（国税庁が通知する13桁の番号）

氏名 部署名 電話番号

1 企業グループの有無（2021年末時点）

1-1 2021年末の時点で、貴社は企業グループに属していましたか。
該当するものを1つ選んで○に✓を付けてください。

日本に本社が所在する企業グループに属していた
外国に本社が所在する企業グループに属していた
いずれの企業グループにも属していない（親会社及び子会社を持たない）

*1)本調査において貴社の「企業グループ」とは、貴社、並びに貴社の親会社及び貴社の子会社からなるグループをいいます。
*2)「親会社」とは「貴社の議決権の過半数を有する他の会社」又は「貴社の経営を支配している他の会社」をいいます。

これより先の全ての設問では、貴社以外の全てのグループ内の他社を除いて対象としてください。

2 従業者数等

2-1 従業者数
2-2 2-1の「従業者数」のうち、「正社員・正職員」の割合
2-3 2-1の「従業者数」のうち、「高等教育を受けた者」の割合
2-4 2-3の「高等教育を受けた者」のうち、「大学院修了者」の割合
2-5 2-3の「高等教育を受けた者」のうち、「博士号保持者」の割合

*2)「従業者」とは、当該企業に所属して働いている全ての人をいいます。
*3)「正社員・正職員」とは、企業に常時雇用されている人のうち、一般に「正社員」又は「正職員」として処遇されている人のことをいいます。
*4)「高等教育を受けた者」とは、次の学位若しくは称号又は外国で取得した同等の学位のいずれかを有する者として「博士」(大学院博士課程修了者)、「修士」(大学院修士課程修了者)、「専門職学位」(法務博士(専門職))、「教職修士(専門職)」及び「修士(専門職)」(法科大学院、教職大学院、及び専門職大学院の課程修了者)、「学士」(大学学部(専門職大学を含む)、卒業生)、「短期大学士」(短期大学(専門職短期大学を含む)、卒業生)、「準学士」(高等専門学校卒業生)並びに「高度専門士」及び「専門士」(修業年限が2年以上で所定の要件を満たす専修学校専門課程の修了者)。

3 製品・サービスの売上高（消費税を除く）

2019年 2021年
百万円

*5)貴社が金融機関の場合は、「経常収益」を記入してください。貴社が保険会社の場合は、「保険料等収入」又は「正味収入保険料」を記入してください。

4 創業年（初めて事業を開始した年）

西暦 年
*6)本調査でいう「創業年」とは、貴社が初めて事業を開始した年をいいます。「創業年」の記入が困難な場合は、「設立年」を記入してください。

これより先の設問では、2019年から2021年までの3年間（一部の設問では2021年における1年間）の活動又は状況について記入してください。

5 市場の状況

5-1 貴社が製品又はサービスを販売又は提供した国・地域（2019年から2021年までの3年間）

[a] から [f] までの国・地域について、該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。
[a] 日本 [b] 中国 [c] ASEAN, 韓国, 台湾 [d] 北米 [e] EU, EFTA, 英国 [f] その他

5-2 貴社の製品又はサービスに関連する競合他社の数（2019年から2021年までの3年間）

各地域における貴社の製品又はサービスに関連する競合他社の数として、該当するものを1つずつ選んで○に✓を付けてください。
0社 1-4社 5-9社 10-14社 15-49社 50社以上
(a) 日本国内 (b) 外国

5-3 貴社の製品又はサービスに関する競争に影響を与えた要因（2019年から2021年までの3年間）

(a) から (h) までの要因について、それらの影響の大きさとして該当するものを1つずつ選んで○に✓を付けてください。
影響あり 影響なし
影響度・高 影響度・中 影響度・小
(a) 製品・サービスがすぐに陳腐化した
(b) 将来的な技術発展の予測が難しかった
(c) 競合他社の製品・サービスにより代替された
(d) 新規競合他社の参入により自社の市場地位が脅かされた
(e) 競合他社の行動の予測が難しかった
(f) 需要の変化の予測が難しかった
(g) 国際競争が激しかった
(h) 顧客離れが生じる価格の上昇があった

6 戦略と知識流動

6-1 貴社が経営成果を得るために採用した戦略（2019年から2021年までの3年間）

Table with columns: 採用した (重要度・高, 重要度・中, 重要度・小) and 採用しなかった. Rows (a) through (j) list various strategic focuses like product improvement, new product introduction, cost reduction, etc.

*7)「経営成果」とは、企業規模(売上高や雇用)の成長、利益率や資本収益率、マーケットシェア(市場占有率)等の企業活動がもたらす経営上の成果をいいます。

6-2 貴社が行った知的財産に関する活動等（2019年から2021年までの3年間）

Table with columns: はい, いいえ. Rows (a) through (m) list intellectual property activities like patent applications, trademark registrations, etc.

6-3 貴社が利用したデジタル化の状況（2019年から2021年までの3年間）

[a] から [e] までのデジタル化について、貴社が利用した目的に該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。ただし、該当するものがない場合は、「利用しなかった」のみ✓を付けてください。

Table with columns: 利用目的, 利用した (既存の製品・サービスの改良, 新しい製品・サービスの導入, 業務の自動化, データ分析・収集又は意思決定支援, その他), 利用しなかった. Rows (a) through (e) list digitalization goals like IoT, cloud computing, big data analysis, etc.

6-4 貴社が利用したロボティクスによる業務の代替（2019年から2021年までの3年間）

Table with columns: 利用した (代替度・高, 代替度・中, 代替度・低) and 利用しなかった. Rows (a) through (b) list robot applications like industrial robots, service robots, etc.

7 新しい又は改善した製品又はサービス

7-1 貴社が市場に導入した新しい又は改善した製品又はサービス（以下、「プロダクト・イノベーション」といいます。）の有無（2019年から2021年までの3年間）

Table with columns: 有り, 無し. Rows (a) through (b) list product/service introduction status, including a specific section for COVID-19 response.

*8)本調査における「新しい又は改善した製品（サービス）」とは、新しい又は改善した製品（サービス）であって、貴社の以前の製品（サービス）とはかなり異なり、かつ市場に導入されているものをいいます。また、これは貴社にとって新しい製品（サービス）を指し、他社が既に市場に導入している製品（サービス）と同様のものを貴社が導入した場合も、それが貴社の以前の製品（サービス）とかなり異なっていれば、「新しい又は改善した製品（サービス）」に該当します。

7-1の(a)か(b)のいずれかでも「有り」が該当する場合、7-2から7-4までを回答してください。
7-1の(a)と(b)のどちらも「無し」に該当する場合、8-1に進んでください。

7-2 新しい又は改善した製品又はサービスを開発した組織 (2019年から2021年までの3年間)
7-1(a)又は(b)で「有り」と回答されたプロダクト・イノベーションを開発した組織について、
[a]から[d]までの該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。

- [a] 自社のみで開発した
[b] 自社が他社や他の機関と共同で開発した
[c] 他社や他の機関が元は開発したものを自社で転用・修正した
[d] 他社や他の機関が開発した

*9)「他社や他の機関」には、他の独立した企業だけでなく、貴社企業グループ内の他社(子会社、企業グループを統括する企業等)、大学、公的研究機関、非営利団体などを含まれます。

7-3 新しい又は改善した製品又はサービスの新規性と売上高 (2021年における1年間)
7-1(a)又は(b)で「有り」と回答されたプロダクト・イノベーションの新規性に関する(x)及び(y)について、「有り」/「無し」から1つずつ選んで○に✓を付けた上で、2021年の総売上高に占める割合をそれぞれ記入してください。また、(x)が「有り」である場合は、(x-1)及び(x-2)にも回答してください。

Table with columns for '有り', '無し', and '総売上高に占める割合'. Rows include (x) new products, (y) similar products, and (z) other products. Includes a calculation for (z) and a table for 2021 total sales.

Table with columns for '有り', '無し'. Rows (x-1) and (x-2) ask about world and Japan first products.

7-4 最も重要な製品の平均寿命 (2019年から2021年までの3年間)
7-1(a)又は(b)で「有り」と回答された、市場に導入した新しい又は改善した製品又はサービス(プロダクト)のうち、最も重要なプロダクトが貴社によってより新しいプロダクトに置き換えられるまでの平均的な寿命はどのくらいですか。該当するものを1つ選んで○に✓を付けてください。

Table with columns (a) through (f) representing different lifespan ranges from less than 6 months to over 10 years.

8 新しい又は改善したビジネス・プロセス

8-1 貴社が自社内に導入した新しい又は改善したビジネス・プロセス (以下、「ビジネス・プロセス・イノベーション」といいます。)の有無 (2019年から2021年までの3年間)
(a)から(g)までのビジネス・プロセスについて、「有り」/「無し」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。また、「有り」の場合、新型コロナウイルス感染症に対応したものが含まれている場合には、さらに、□に✓を付けてください。

Table for 8-1 with columns '有り', '無し' and a sub-column for 'うち新型コロナウイルス感染症対応'. Rows (a) through (g) list various business process categories.

*10)本調査における「新しい又は改善したビジネス・プロセス」とは、1つ以上のビジネス機能についての新しいビジネス・プロセスであって、貴社の以前のビジネス・プロセスとはかなり異なり、貴社内において利用に付されているものをいいます。また、これは貴社にとって新しいビジネス・プロセスを指し、他社が既に導入しているビジネス・プロセスと同様のものを貴社が導入した場合も、それが貴社の以前のビジネス・プロセスとかなり異なっていれば、「新しい又は改善したビジネス・プロセス」に該当します。

8-1の(a)から(g)までのいずれかでも「有り」が該当する場合、8-2を回答してください。
8-1の(a)から(g)までの全てが「無し」に該当する場合、9-1に進んでください。

8-2 新しい又は改善したビジネス・プロセスを開発した組織 (2019年から2021年までの3年間)
8-1の(a)から(g)までで「有り」と回答されたビジネス・プロセス・イノベーションについて、[a]から[d]までの該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。

- [a] 自社のみで開発した
[b] 自社が他社や他の機関と共同で開発した
[c] 他社や他の機関が元は開発したものを自社で転用・修正した
[d] 他社や他の機関が開発した

*11)「他社や他の機関」には、他の独立した企業だけでなく、貴社企業グループ内の他社(子会社、企業グループを統括する企業等)、大学、公的研究機関、非営利団体などを含まれます。

9 環境上の便益のある新しい又は改善したプロダクト又はビジネス・プロセス

9-1 環境上の便益のある新しい又は改善したプロダクトの導入又はビジネス・プロセスの実施 (2019年から2021年までの3年間)
貴社は、市場に導入した新しい若しくは改善したプロダクト(製品若しくはサービス)*8(すなわち、プロダクト・イノベーション)又は自社内に導入した新しい若しくは改善したビジネス・プロセス*10(すなわち、ビジネス・プロセス・イノベーション)に関する(a)から(j)までの環境上の便益について、それぞれその環境保護への貢献度として該当するものを1つずつ選んで○に✓を付けてください。

Table for 9-1 with columns for '環境保護 貢献度・大' and '環境保護 貢献度・小'. Rows (a) through (d) list environmental benefits like energy reduction and recycling.

Table for 9-1 continuation with columns '環境保護 貢献度・大', '環境保護 貢献度・小', and '関連するもの無し'. Rows (e) through (j) list benefits like raw material reduction and waste recycling.

10 「プロダクト・イノベーション」(7-1)又は「ビジネス・プロセス・イノベーション」(8-1)の実現に向けて実行した活動(イノベーション活動)

10-1 貴社が「プロダクト・イノベーション」(7-1)又は「ビジネス・プロセス・イノベーション」(8-1)の実現に向けて実行した活動(以下、「イノベーション活動」といいます。)の内容(2019年から2021年までの3年間)
(a)から(g)までについて、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。また、(g)の回答が「はい」である場合は、(g-1)及び(g-2)にも回答してください。

Table for 10-1 with columns 'はい', 'いいえ'. Rows (a) through (g) list various innovation activities.

Table for 10-2 with columns 'はい', 'いいえ' and '2021年の支出額'. Rows (g-1) and (g-2) ask about R&D activities and their 2021 expenditures.

10-2 「プロダクト・イノベーション」(7-1)又は「ビジネス・プロセス・イノベーション」(8-1)の実現につながらなかったイノベーション活動の有無 (2019年から2021年までの3年間)
(a)から(c)までについて、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

Table for 10-2 with columns 'はい', 'いいえ'. Rows (a) through (c) ask about continuation, suspension, or completion of activities.

*12)「継続中の活動」とは、2021年末時点で完了しなかったが、2022年に継続して実行されているイノベーション活動を指します。
*13)「中止又は中断した活動」とは、事後に活動を再開する計画がない(中止)又はそのような計画がある(中断)かに関わらず、継続されなかったイノベーション活動を指します。
*14)「完了済みの活動」とは、2021年末時点で活動自体は完了したが、2021年末までに「プロダクト・イノベーション」(7-1)又は「ビジネス・プロセス・イノベーション」(8-1)の実現につながらなかったイノベーション活動を指します。

10-1及び10-2のいずれかでも「はい」が該当する場合は、10-3及び10-4を回答してください。
すべて「いいえ」が該当する場合は、回答終了となります。

10-3 貴社がイノベーション活動のために受給した公的財政支援の有無 (2019年から2021年までの3年間)
(a)から(c)までについて、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

Table for 10-3 with columns 'はい', 'いいえ'. Rows (a) through (c) list types of public financial support.

*15)「地方公共団体」には、都道府県、市区町村のほか、これらの地方公共団体が設立して公的資金に基づいて運営されている機関も含まれます。
*16)「財政支援」は、助成金、補助金、補助金付融資(貸付)、及び融資保証(損失補償契約)が含まれます。他方、公的部門の機関との契約に基づく活動に対する支払いは除かれます。
*17)「国(政府、行政機関、独立行政法人等)」には、府省庁、科学技術振興機構(JST)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、情報通信研究機構(NICT)等の独立行政法人のほか、株式会社日本政策投資銀行、株式会社日本政策金融公庫といった機関も含まれます。

10-4 貴社がイノベーション活動のために他社や他の組織と行った協力の有無 (2019年から2021年までの3年間)
(a)及び(b)について、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

Table for 10-4 with columns 'はい', 'いいえ'. Rows (a) and (b) ask about collaboration for R&D and other innovation activities.

10-4の(a)か(b)のいずれかでも「はい」が該当する場合は、10-5を回答してください。
すべて「いいえ」が該当する場合は、回答終了となります。

10-5 協力相手の種類と所在国・地域 (2019年から2021年までの3年間)
10-4の(a)又は(b)で「はい」が該当した活動に関して、具体的な協力相手の種類とその協力相手が所在する国・地域について、該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。ただし、該当するものがない場合は、「該当なし」にのみ✓を付けてください。

Table for 10-5 with columns for various partner types and regions (Japan, China, ASEAN, etc.). Rows (a) through (j) list partner categories.